

平成26年度

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

資 料

平成26年4月21日（月）
ピュアリティまきび 「白鳥」

目 次

I	平成25年度の取組実績について	1
1	会議の開催	1
2	重点取組事業	2
(1)	おかやま・もったいない運動の推進	2
ア	第8回おかやま・もったいない晴れの国フォーラムの開催	2
イ	おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクールの開催	3
ウ	おかやま・もったいない！ 小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催	3
エ	おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテストの開催	3
(2)	マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	3
ア	岡山県統一ノーレジ袋デーの取組	3
イ	レジ袋秋休みキャンペーンの取組について	6
ウ	関連事業	10
エ	マイバッグ持参率等アンケート調査の実施	11
オ	県内のレジ袋無料配布中止の状況について	12
3	その他普及啓発事業	13
II	平成26年度の取組（案）について	15
1	会議の開催	15
2	重点取組事業	16
(1)	おかやま・もったいない運動の推進	16
ア	「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催	16
イ	おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクールの開催	16
ウ	おかやま・もったいない！ 小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催	17
(2)	マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	18
ア	岡山県統一ノーレジ袋デーの取組	18
イ	おかやまマイバッグキャンペーン	18
ウ	マイバッグ・チャレンジ30	19
エ	啓発資材の作成及び送付	19
オ	ホームページやフェイスブックによる広報	19
カ	レジ袋無料配布中止（有料化）の取組	19
3	その他普及啓発事業	19

Ⅰ 平成25年度の取組実績について

1 会議の開催

平成25年度ごみゼロ社会プロジェクト推進会議に係る会議を次のとおり開催した。

(1) 第1回ワーキング会議

ア 日 時 平成25年4月15日（月） 13：30～15：30
イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室
ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局
エ 議 題 ・平成24年度の取組実績について
・平成25年度の取組（案）について

(2) 本会議

ア 日 時 平成25年4月22日（月） 13：30～15：30
イ 場 所 三光荘 2階 アトリウムホール
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議 題 ・平成24年度の取組実績について
・平成25年度の取組（案）について

(3) おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール審査選考会

ア 日 時 平成25年9月26日（木） 17：30～19：30
イ 場 所 三光荘 2階アトリウムホール
ウ 出席者 審査員2名

(4) おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

ア 日 時 平成25年9月27日（金） 13：00～16：30
イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室
ウ 出席者 審査員3名

(5) おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテスト審査選考会

ア 日 時 平成25年9月27日（金） 10：00～12：00
イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室
ウ 出席者 審査員3名

(6) 第2回ワーキング会議

ア 日 時 平成26年1月31日（金） 13：30～15：30
イ 場 所 県庁 9階環境文化部会議室
ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局
エ 議 題 レジ袋削減の取組について
・平成25年度の取組実績について
・今後の取組について

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3R^{スリーアール}（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を次のとおり推進した。

ア 第8回おかやま・もったいない晴れの国フォーラムの開催

(ア) 日 時 平成25年10月26日（土）10：00～17：00

(イ) 場 所 岡山コンベンションセンター 1階 イベントホール

(ウ) 大会テーマ ”もったいない” と思う気持ちがはじめの1歩

(エ) 主 催

岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議、地球温暖化防止プロジェクト推進会議、(公財)岡山県環境保全事業団

オ プログラム

① オープニングセレモニー

・主催者・来賓挨拶、ジェットスモークセレモニー

② 表彰式

・環境おかやま大賞

・おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール、小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト、手作りマイバッグコンテスト

③ トークショー

「楽しい時間の作り方～私たちにできるエコライフ～」早見 優（歌手）

④ キャラクターショー

・それいけ！アンパンマンショー、撮影会

⑤ 展 示

・県の施策（マイバッグ運動、岡山県エコ製品、岡山エコ事業所）

・環境団体、地域団体等の活動紹介

・ポスターコンクール、エコチャレンジコンテスト及び手作りマイバッグコンテストの入賞作品

⑥ そ の 他

・体験コーナー設置

・3R推進中国四国地方大会in岡山（環境省中国四国環境事務所主催）と同時開催

(カ) 来場者数 約2,200人

*おかやま・もったいない！各種コンテスト作品展示会

① 岡山会場 天満屋岡山店 アートスペース

平成25年11月6日～11日

② 倉敷会場 ゆめタウン倉敷店 2階

平成25年11月19日～25日

③ 津山会場 イオン津山店 1階

平成25年12月3日～9日

④ 特別展 倉敷市環境学習センター
平成25年12月17日～平成26年1月31日

イ おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクールの開催

「もったいない」精神の普及や、3Rに対する意識の高揚などを図るため、県内の小学校に在学する全学年の児童を対象にポスター（絵画）を募集した。

- (ア) 応募数 52校、646作品
- (イ) 応募締切 平成25年9月9日（月）

ウ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催

夏休み期間中、小学生とその家族を対象として、家庭でできる3Rや地球温暖化防止の取組に1週間以上チャレンジしていただき、その成果を募集した。

- (ア) 応募数 11校、79点
- (イ) 応募締切 平成25年9月9日（月）

エ おかやま・もったいない！手作りマイバッグコンテストの開催

「もったいない」精神の普及や、3Rに対する意識の高揚などを図るため、県内の小・中学校、高等学校等に在学する全学年の生徒児童、一般県民を対象に手作りマイバッグを募集した。

- (ア) 応募数 13校1市、90点
- (イ) 応募締切 平成25年9月9日（月）

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デーの取組

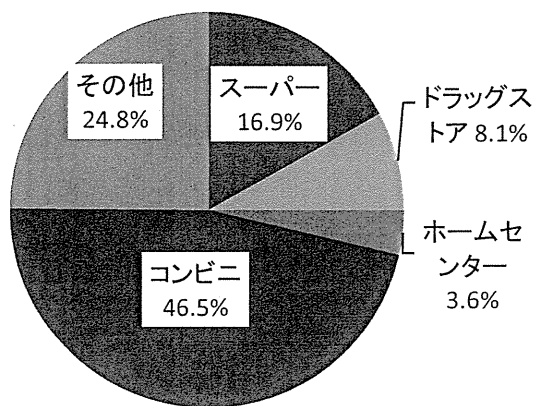
(ア) 参加店舗の現状

現在の参加店舗数は、1,490店舗（平成26年4月1日現在）で、昨年度同期の1,407店舗に比べ83店舗増加している。

内訳は、チェーン店などのグループ店が1,264店舗（84.8%）、個人の小売店が226店舗（15.2%）で、業態別では、スーパーマーケットが252店舗（16.9%）、ドラッグストアが121店舗（8.1%）、ホームセンターが54店舗（3.6%）、コンビニエンスストアが693店舗（46.5%）、その他が370店舗（24.8%）となっている。

市町村別では、新庄村、西粟倉村以外の25市町に参加店があり、一番多いのが岡山市で38.7%、次いで倉敷市が21.9%、津山市が7.5%となっている。

<業態別内訳>



<市町村別内訳（上位10位）>

市町村名	店舗数	構成比	順位
岡山市	576	38.7%	1
倉敷市	326	21.9%	2
津山市	112	7.5%	3
新見市	53	3.6%	4
真庭市	42	2.8%	5
赤磐市	39	2.6%	6
玉野市	38	2.6%	7
総社市	37	2.5%	8
瀬戸内市	33	2.2%	9
笠岡市	30	2.0%	10

(イ) レジ袋辞退率の推移

平成26年2月の平均辞退率は26.7%で、4月～2月までの辞退率は、24%台～27%台である。

(単位：%)

実施日	H25.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H26.1月	2月
平均辞退率	27.3	25.5	26.0	24.9	23.8	26.4	26.1	24.7	26.8	26.8	26.7
スーパーマーケットの辞退率	25.9	25.6	26.6	24.0	24.1	26.4	26.2	24.7	26.8	26.5	26.4

(ウ) 普及啓発の状況

① 店頭、街頭での啓発

6月の普及啓発活動強化月間には、県循環型社会推進課、各県民局、各市町村が主体となり事業者（店舗）や環境団体と協働して、岡山駅前や県内各参加店舗の店頭等において、啓発用チラシ及びティッシュ、エコバッグ等を配付し、普及啓発活動を実施した。

○ 備前市



○ 里庄町



② 新聞、ラジオ、広報紙等の広報媒体の活用

「岡山県統一ノーレジ袋デー」については、RSKテレビ、RSKラジオ、FMおかやまでのお知らせ、県政情報誌「晴れの国おかやま」、県政広報資料、NHKデータ放送、携帯電話版メールマガジン、ホームページ、フェイスブック掲載などにより周知を図った。

また、6月の普及啓発活動強化月間には、山陽新聞への「岡山県統一ノーレジ袋デー」広告掲載（平成25年6月9日）のほか、県・市町村の広報紙等に記事を掲載した。

○ 山陽新聞朝刊（平成25年6月9日）



○ 広報紙（笠岡市）

毎月10日は、「岡山県下統一ノーレジ袋デー」です！

レジ袋は、日本では国民一人あたり年間300枚も使用しており、使用後にはそのほとんどが「ごみ」として捨てられています。1枚のレジ袋を作るには、60ワットの電球を1時間つけられるほどの石油が使われています。本当にもったいないですね。

みなさんも、買い物の際に、エコバッグやふろしきなどを使って、レジ袋をもらわない「マイバッグ持参運動」に参加し、自分でできるエコを始めてみませんか。

問合せ
環境課 ☎0868005

③ イベントでの普及啓発

巡回エコ製品等普及展示会やおかやま・もったいない晴れの国フォーラムで、展示や来場者への啓発品の配布などを行った。

○ おかやま・もったいない晴れの国フォーラム（平成25年10月26日）



(I) 啓発資材の作成及び送付

啓発グッズ（のぼり旗、ポスター、ステッカー、チラシ、ティッシュ）をリニューアルし、希望する事業者（店舗）、市町村等に送付した。また、環境学習に取り組む県内の小学校4年生約2万人に缶マグネットを配布した。

のぼり旗



ポスター



ステッカー



缶マグネット



(チラシも同デザイン)

ティッシュ



イ レジ袋秋休みキャンペーンの取組について

(ア) 街頭や店頭での普及啓発活動

県循環型社会推進課、各県民局、各市町村などが主体となり事業者（店舗）や環境団体と協働して、概ね10月～11月にＪＲ岡山駅及び県内各参加店舗の店頭等において、チラシ及び啓発品等を配付し、普及啓発活動を実施した。

- JR岡山駅前（11月8日）
県（備前県民局と合同）・岡山市



- 新見市



- 広報紙（真庭市）

**マイバッグ利用を積極的に
レジ袋秋休みキャンペーン**

岡山県では、家庭ごみを減らすため、スーパーやドラッグストア、ホームセンターなどの各店舗、消費者・環境団体などと協力し、11月に「レジ袋秋休みキャンペーン」を実施します。このキャンペーンは、買い物にマイバッグを持参し、レジ袋をもらわないようにする「マイバッグ運動」を推進するものです。レジ袋のごみを減らすことは、誰でも自分の意思で簡単にできる取り組みです。レジ袋秋休みキャンペーンをきっかけに、ちよつとしたエコを始めてみませんか。

■期間 11月1日(金)～30日(土)
■問い合わせ先 環境課 柿本
TEL 0867(42)1113

(イ) 新聞、ラジオ、広報紙等などの広報媒体の活用

RSKテレビ、FM放送、NHKデータ放送、携帯電話版メールマガジン、ホームページ、フェイスブック等でレジ袋秋休みキャンペーンについてお知らせした。

また、毎日新聞（平成25年10月18日）に特集記事、山陽新聞朝刊に半5段カラー広告（平成25年11月1日）を1回、題字下モノクロ広告を3回（平成25年11月8日、13日、22日）掲載し、県及び各市町村発行の広報紙等において広報を行った。

○ 毎日新聞朝刊 記事 (平成25年10月18日)

11 毎日新聞 岡山 2013年(平成25年)10月18日(金) 版日新聞

毎月10日は「県統一ノーレジ袋デー」



マイバッグ持参

ごみ減量化やCO₂抑制へ 地道な啓発活動

「マイバッグ持参」の啓発活動が、岡山県内各地で盛んに行われている。岡山県環境生活部は、毎月10日を「県統一ノーレジ袋デー」として、マイバッグ持参を呼び掛けている。前にも、1甲斐に1人あたりレジ袋は約250枚を消費しているという。11月の「マイバッグ持参の日」に向け、県内の各自治体と連携して、

岡山県環境生活部は、毎月10日を「県統一ノーレジ袋デー」として、マイバッグ持参を呼び掛けている。前にも、1甲斐に1人あたりレジ袋は約250枚を消費しているという。11月の「マイバッグ持参の日」に向け、県内の各自治体と連携して、



習慣付けよう！

岡山県環境生活部は、毎月10日を「県統一ノーレジ袋デー」として、マイバッグ持参を呼び掛けている。前にも、1甲斐に1人あたりレジ袋は約250枚を消費しているという。11月の「マイバッグ持参の日」に向け、県内の各自治体と連携して、

マイバッグの所持

持っていない	23%
持っている	77%

レジ袋が有料の店舗について

知らない	61%
知っている	39%

レジ袋が有料になったら

レジ袋が有料になったら、マイバッグを持参する	72%
レジ袋が有料になったら、レジ袋を購入する	28%

○ 山陽新聞朝刊
半5段カラー広告
(平成25年11月1日)

題字下モノクロ広告
(平成25年11月8日、13日、22日)

(ウ) 啓発資材の作成及び送付

「レジ袋秋休みキャンペーン」の普及啓発を目的とし、啓発ポスターを作成するとともに参加事業者(店舗)及び市町村等に送付した。また、「マイバッグ持参」を基調としたチラシ及びティッシュを作成し市町村等に送付した。

ポスター



チラシ

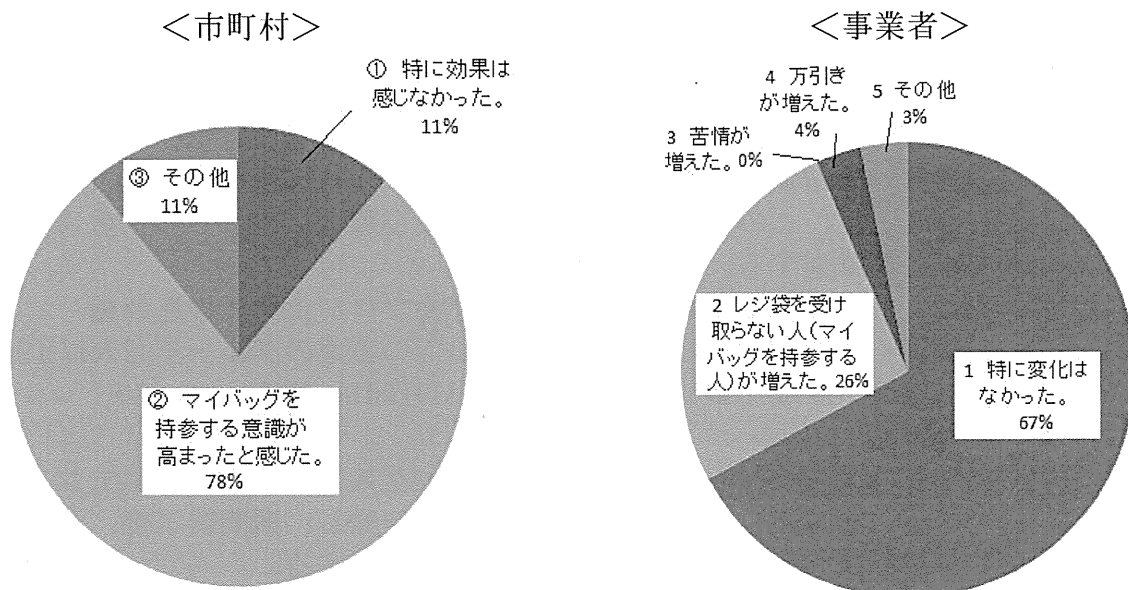


ポケットティッシュ



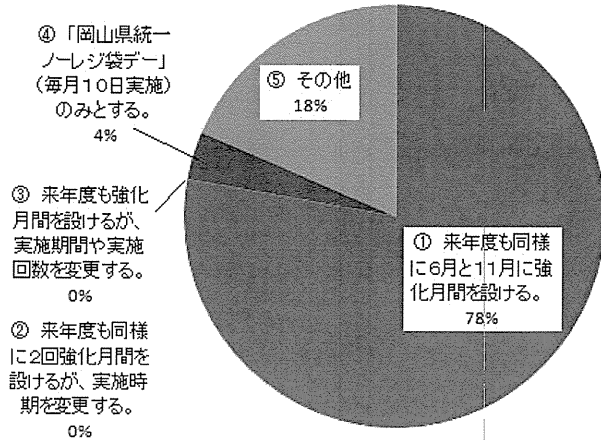
(I) アンケート結果

市町村及びノーレジ袋デー参加事業者にアンケート調査を実施した。キャンペーン期間中の変化については、市町村では、「マイバッグを持参する意識が高まった」が78%で最も多かった。一方、事業者では「特に変化はなかった」が67%で最も多かったが、「レジ袋を受け取らない人（マイバッグを持参する人）が増えた」も26%あった。

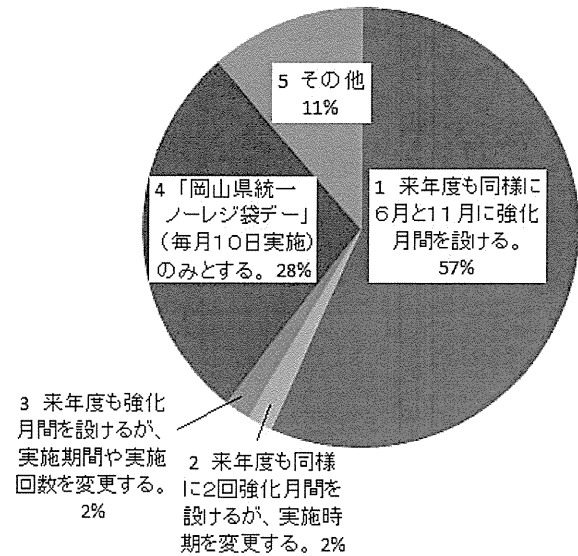


今後のレジ袋削減の取組については、「来年度も同様に6月と11月に強化月間を設ける」が市町村は78%、事業者は57%と最も多く、次に「岡山県統一ノーレジ袋デーのみとする」が市町村4%、事業者28%だった。

＜市町村＞



＜事業者＞



ウ 関連事業

(ア) マイバッグ・チャレンジ30の実施【新規】

11月の「レジ袋秋休みキャンペーン(マイバッグ持参強化月間)」の一環として実施した。

115グループ992人が参加し、総レジ袋辞退回数は、13,635回だった。参加者からは、この機会にマイバッグ持参が習慣となった、回数を記録することで楽しく取り組めた、との感想が多く寄せられた。(資料1参照)

① 目的

レジ袋の削減効果を数字で表し「見える化」することで、マイバッグ持参による買い物習慣の定着を図るとともに、グループ単位でレジ袋削減の取組を促すことで、ごみの減量化、環境保全及び環境にやさしい生活スタイルへの見直しを推進する。

② 主催 岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

③ 参加資格 岡山県内に在住又は勤務している方のグループ(2人以上)

④ 実施期間 平成25年11月1日(金)～11月30日(土)

⑤ 実施方法

参加者は、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア等での買い物時にレジ袋を辞退した回数を記録し、期間終了後、グループ内のレジ袋辞退回数を集計して事務局あてに報告する。

⑥ その他 事前登録時、先着100グループにエコバッグをプレゼント

(イ) おかやまレジ袋調査隊の実施【新規】

消費者に対してマイバッグ運動を普及啓発し、また、消費者や事業者に対してレジ袋の無料配布中止(有料化)の実施状況について情報を提供し、レジ袋の無料配布中止への理解を深めてもらうため、小学生を対象に「調査隊」を募り、レジ袋の無料配布中止を実施しているスーパー等でのレジ袋削減の取組や

無料配布中止の実施の影響などを調査した。実施に当たっては、公益財団法人岡山県環境保全事業団（環境学習センター「アスエコ」）に委託した。

- ① 調査員：3年生から6年生までの小学生10名
（イオンチアーズクラブおかやま 5名、岡山市立岡山中央小学校 5名）
- ② 調査対象店舗：レジ袋の無料配布中止を行っているスーパー2店舗
・イオン岡山店（岡山県岡山市北区青江2-7-2）
・イトーヨーカドー岡山店（岡山市北区下石井2-10-2）
- ③ 日時・場所等
 - ・事前学習・調査会議
平成25年11月2日(土) 10:00-13:00 環境学習センター「アスエコ」1F
 - ・事前学習
レジ袋削減の目的・県内の状況についての説明(岡山県循環型社会推進課)、
県内の先進的事例(和気町生活環境課)の紹介
 - ・調査会議
事前学習で得た知識を基に、お店・お客様への質問事項をグループごとに
検討し、活動計画書を作成
 - ・調査活動
作成した活動計画書にしたがって、グループごとに調査対象のスーパー
に出向き、レジ袋削減に向けてのお店の取組・お客様への意識調査を行い、
調査結果や感想、調査の様子などの写真を模造紙にまとめた。
イオンチアーズクラブおかやま
→ イオン岡山店 平成25年11月23日(土) 13:00-17:00
岡山市立岡山中央小学校
→ イトーヨーカドー岡山店 平成25年11月24日(火) 13:00-17:00
 - ・調査報告会
「アースキーパーのつどい」 平成25年12月15日(日) 13:30-13:45
岡山コンベンションセンター（岡山市北区駅元町14-1-1）
 - ・機関誌への掲載
岡山県環境保全事業団が発行する機関誌「環境」（発行部数 2500 部）に調
査活動を掲載
- ④ 調査結果（資料2参照）
来店者への聞き取りでは、「レジ袋が有料化になって変わったことはあり
ますか。」の問いに対して、77%の人が「マイバッグを使うようになった。」
「レジ袋を断るようになった。」と回答した。

エ マイバッグ持参率等アンケート調査の実施

マイバッグ持参率等を把握するため、株式会社東京商工リサーチ岡山支店に委託し、平成26年2月中に、県内9店舗でマイバッグ持参率等アンケート調査を実施した。
（資料3参照）

- (ア) 調査数 合計2,700人(1店舗につき300人)
- (イ) 調査方法 買物客への聞き取り調査又は直接記入

(ウ) 調査結果

ノーレジ袋デーの認知率	59.6% (平成24年度: 56.2%)
マイバッグ持参率	44.5% (平成24年度: 43.3%)
レジ袋が有料になった場合「マイバッグを持っていく」と答えた人の割合	79.9% (平成24年度: 72.8%)
「有料化している店舗をどう思うか」	
賛成	33.0% (平成24年度: 32.9%)
仕方がない	60.2% (平成24年度: 59.7%)
合計	93.2% (平成24年度: 92.6%)

オ 県内のレジ袋無料配布中止の状況について

(ア) 実施状況

平成25年11月から県内のイオン3店舗がレジ袋無料配布中止を実施し、現在、レジ袋無料配布中止を実施しているのは、16事業者32店舗である。
(資料4参照 県把握分)

(イ) 無料配布中止(有料化)に関するアンケートの集計結果

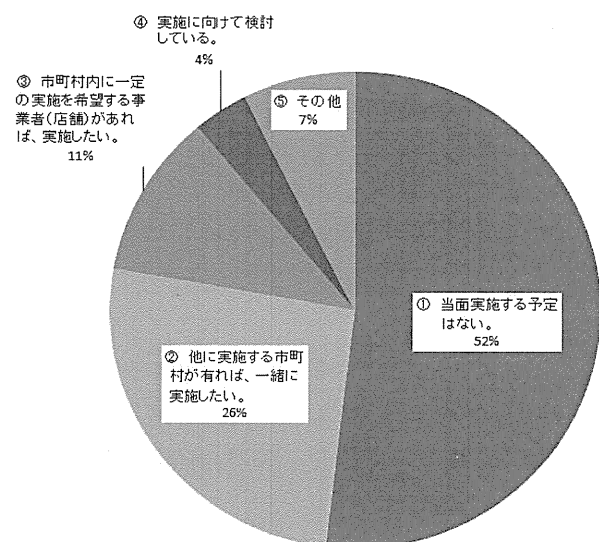
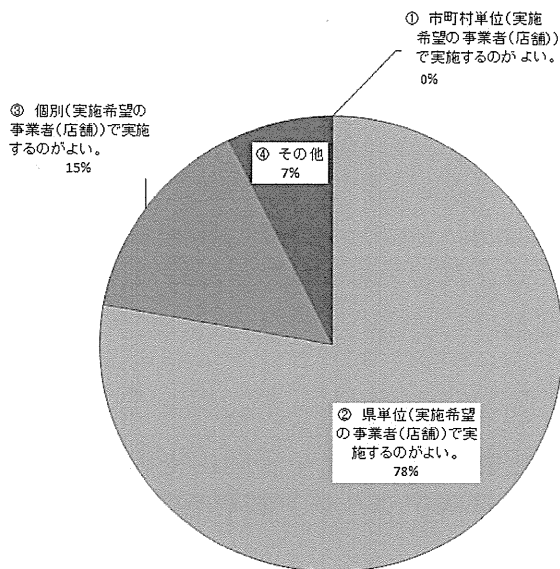
市町村及び事業者にアンケート調査をしたところ、次のとおりだった。

・ 市町村

実施単位については県単位の希望が78%、市町村単位での実施は当面予定していないが52%だった。市町村は、住民に不公平感をもたれないよう、単独ではなくできるだけ広域での実施を希望している。

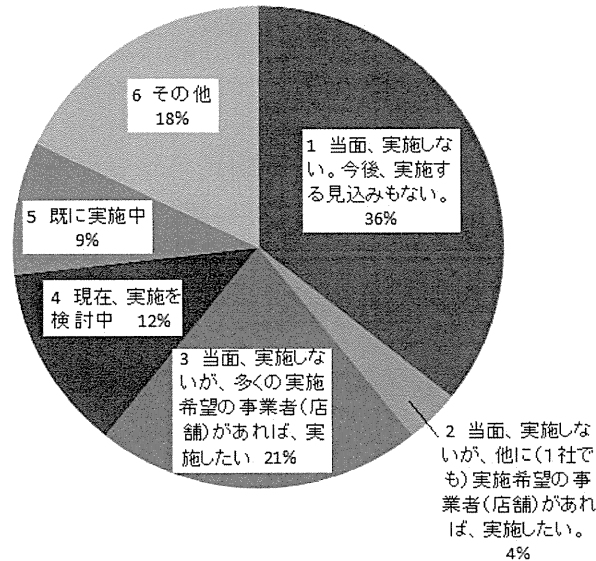
1 レジ袋無料配布中止(有料化)を実施するとしたら、どのような形がよいと考えますか。

2 市町村単位によるレジ袋の無料配布中止(有料化)について現在の意見を教えてください。



・ 事業者

有料化（無料配布中止）への意見については、「当面、実施しない。今後、実施する見込みもない」が36％と一番多く、「多くの参加希望の事業者(店舗)があれば実施したい」が21％、「他に(1社でも)参加希望の事業者(店舗)があれば実施したい」が4％となっている。



3 その他普及啓発事業

(1) 岡山エコ事業所認定制度の普及啓発

事業所における排出抑制、グリーン調達促進等を図るため、「岡山エコ事業所認定制度」（ゼロエミッション事業所、一般事業所、小売店）の周知を図るとともに認定を実施した。

○ 認定件数（平成26年4月1日現在）	271事業所
・ 排出抑制、再利用に取り組む「ゼロエミッション事業所」	56事業所
・ 再生品を使用する「一般事業所」	41事業所
・ 再生品等を販売する「小売店」	174事業所

(2) 岡山県エコ製品認定制度の普及啓発

再生品の需用を喚起し、資源の循環的な利用を促進するため、岡山県エコ製品認定制度の普及啓発に努めるとともに認定を行った。

○ 認定件数（平成26年4月1日現在）	369製品
---------------------	-------

* 巡回エコ製品等普及展示会等において、岡山県エコ製品認定制度と岡山エコ事業所認定制度のPRを同時に行った。

ア	びっちゅう環境フェア（新見市）	平成25年6月 8日	約1,500人(来場者数)
イ	親子エコフェスタ2013（津山市）	平成25年6月16日	約1,300人
ウ	エコフェスタびぜん（備前市）	平成25年6月30日	約500人

エ リサイクルフェア in くらしき 2013 (倉敷市)
平成25年10月6日 約6,000人

オ 特別展示 (倉敷市環境学習センター) 平成25年10月7日～10月25日
カ 第8回おかやま・もったいない晴れの国フォーラム
平成25年10月26日 約2,200人

キ 中四国環境ビジネスネット B-netフォーラム2013
平成25年11月27日 約160人

*常設展示 (テクノサポート岡山)

(ア) 展示期間 平成25年7月～平成26年3月

(イ) 展示場所 テクノサポート岡山 1F (アルコープ) 展示室
(岡山市北区芳賀5301)

*その他各種広報を行った。

- ・県のホームページへの掲載
- ・新聞紙面 (山陽新聞朝刊) による広報
- ・普及啓発パンフレットの作成、配布

II 平成26年度の取組（案）について

1 会議の開催

(1) 第1回ワーキング会議

- ア 日 時 平成26年4月14日（月） 13：30～15：30
イ 場 所 岡山衛生会館 第3会議室
ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局
エ 議 題 ・平成25年度の取組実績について
・平成26年度の取組（案）について

(2) 全体会議

- ア 日 時 平成26年4月21日（月） 13：30～15：30
イ 場 所 ピュアリティまきび 「白鳥」
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議 題 ・平成25年度の取組実績について
・平成26年度の取組（案）について

(3) おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール審査選考会

- ア 日 時 平成26年10月上旬
イ 場 所 岡山市内（予定）
ウ 出席者 審査員2名

(4) おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

- ア 日 時 平成26年10月上旬
イ 場 所 岡山市内（予定）
ウ 出席者 審査員4名

(5) 第2回ワーキング会議

- ア 日 時 平成27年1月下旬
イ 場 所 岡山市内
ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局
エ 議 題 ・平成26年度の取組実績について
・今後の取組について

(6) レジ袋削減検討会

必要に応じて随時開催する。

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3R（「発生抑制（リデュース）」、「再使用（リユース）」、「再生利用（リサイクル）」）^{3R-7-4}についての県民一人ひとりの意識改革と実践行動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を実施しており、平成26年度は次の取組を行う。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

(ア) 目的

「循環型社会形成（もったいない）」をテーマに、県民が日常生活の中で実践できることを講演、活動事例発表、パネルディスカッション等を通じて提示するとともに、県の3R関連施策や環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容について展示するブースを設置することにより、広く情報の発信・収集・交換を図るイベントとする。

平成26年度からは、3県民局ごとに実施する「環境保全普及啓発事業」に併せて実施する等地域の状況に応じた内容で実施する。

(イ) 開催時期：平成26年6～12月（予定）

(ロ) 会場：3県民局管内各1箇所（予定）

(ハ) 参加者：県民、消費者・環境団体、事業所、行政職員等

(ニ) プログラム（例）

- ・基調講演：講師（全国的な知名度があり、造詣が深い人）
- ・活動事例発表：「もったいない」の取組を実践している団体・学校、企業
- ・展示コーナー：

岡山県エコ製品、岡山エコ事業所、3R、マイバッグ運動等の県の施策とともに、環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容を展示・紹介するブースを設ける。また、ポスター及びエコチャレンジコンテストの優秀作品等を展示する。

イ おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクールの開催

（資料5参照）

(ア) 目的

もったいない精神の普及、ごみの発生の抑制、減量化、リサイクルに対する意識の高揚、再生品の使用促進を図るため、小学生を対象としたポスター（絵画）コンクールを実施する。

(イ) 主催等（予定）

主催：岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

共催：公益財団法人岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

(ロ) 対象者 県内の小学校に在学する児童（全学年）

(ハ) 応募内容

ごみの減量化など「もったいない」を推進するポスター（絵画）

1・2年生は絵画、3年生以上はポスター（必ず呼びかけの言葉を入れる）

(オ) 募集方法 5月下旬頃、県内全小学校に募集案内を送付

(カ) 応募期限 平成26年9月16日（火）

(キ) 表彰

3部門（低学年の部、中学年の部、高学年の部）

・ 知事賞 各部門1名 計 3名 表彰状・副賞（5千円相当）

・ 岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議会長賞
各部門1名 計 3名 表彰状・副賞（3千円相当）

・ 環境文化部長賞 各部門3名 計 9名 表彰状・副賞（3千円相当）

・ 優秀賞 各部門5名 計 15名 表彰状・副賞（2千円相当）

・ 参加賞 応募者全員

(ク) 選考方法 小学校教諭による審査の上、決定

(ケ) 表彰式 11月に岡山市内で行う。

優秀作品については、県内3箇所程度で展示会場を設ける。

ウ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催
（資料6参照）

(ア) 目的

県内の小学生とその家族に、エコな生活について一緒に考えながら家庭内でごみの減量化などに取り組んでもらうことにより、家族全員に「もったいない」に関心を持つ契機とする。

また、取組結果は、ごみの減量をはじめとする「もったいない」の普及啓発に広く活用する。

(イ) 主催等（予定）

主催：岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

共催：地球温暖化防止プロジェクト推進会議、公益財団法人岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

(ウ) 対象者 県内に住んでいる小学生とその家族

(エ) 募集方法 5月下旬頃、県内全小学校に募集案内を送付

(オ) 応募期限 平成26年9月16日（火）

(カ) 取組内容

平成26年8月31日までの1週間、小学生とその家族が、買物、食事、入浴など家庭での日常生活を通じて、ごみの減量や省エネ等に向けた改善策を工夫し実践する。

(A) ごみゼロチャレンジ…買物や食事など、日常生活を通じた3Rに向けた取組

(B) 温暖化防止チャレンジ…電気や水の節約など、温暖化防止の取組

(キ) 応募方法 取組結果を報告用紙に記入の上、提出

(ク) 表彰方法

（個人の部）

・ 最優秀賞 1名 表彰状・副賞（5千円相当）

・ 優秀賞 5名 表彰状・副賞（3千円相当）

- ・努力賞 10名 表彰状・副賞（2千円相当）
- ・参加賞 応募者全員
- （団体の部）
- ・最優秀賞 1学校 表彰状・副賞（1万円相当）
- ・優秀賞 若干 表彰状・副賞（5千円相当）

(ケ) 選考方法

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議委員代表による選考委員会において審査の上、決定

(ク) 表彰式 11月に岡山市内で行う。

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デーの取組

引き続き毎月10日を岡山県統一ノーレジ袋デーとして、マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする運動を全県的に実施する。

〈実施に当たっての役割分担〉

- 事業者の役割
 - ・お客様に対して、レジ精算時に「声かけ」を行い啓発する。
 - ・店頭などに、のぼり旗、ポスター等を掲出して啓発する。
 - ・「ノーレジ袋デー」当日のレジ袋辞退率を算定し県に報告する。
- 消費者・環境団体等の役割
 - ・店舗の店頭等で、「声かけ」、「チラシ配り」などの啓発活動を行う。
- 行政（県・市町村）の役割
 - ・広報紙やポスター等の啓発資材により広報・啓発する。（県・市町村）
 - ・消費者・環境団体等が行う店頭啓発活動を支援する。（市町村）
 - ・統一的な啓発資材（のぼり旗、ポスター等）を作成し、配付する。（県）
 - ・事業者から報告されたレジ袋辞退率をとりまとめ公表する。（県）

イ おかやまマイバッグキャンペーン

6月と11月を「おかやまマイバッグキャンペーン」として、県、各市町村が主体となり、消費者・環境団体、事業者（店舗）と協力して、街頭や店頭でのマイバッグ持参（レジ袋削減）の普及啓発活動（PR）を実施する。

- (ア) 期間 平成26年6月及び11月
- (イ) 場所 街頭（JR等の駅前）や参加事業者（店舗）の店頭など
- (ウ) 内容 チラシやポケットティッシュ等の啓発グッズを配布するなど普及啓発活動（PR）を行い、一般県民（住民）に協力を呼びかける。
 - 事業者（店舗）
 - 行政からの要請があれば、店頭の一部を無料で提供
 - 消費者・環境団体等
 - 行政からの要請があれば、啓発活動（PR）に協力
 - 行政（県・市町村）
 - ・広報誌などへの掲載（文例は県で作成し、市町村へ提供）
 - ・街頭や店頭等での普及啓発活動
 - ・消費者・環境団体等が行う啓発活動の支援

・普及啓発活動（PR）のプレス発表

ウ マイバッグ・チャレンジ30

11月のおかやまマイバッグキャンペーン期間中に実施する。（資料7参照）

エ 啓発資材の作成及び送付

のぼり旗、ポスター、チラシ、ステッカー、レジ袋辞退カード等啓発グッズを作成し、参加事業者（店舗）、市町村等に対し送付する。

また、家庭内で児童から家族へ働きかけてもらうため、環境学習に取り組む小学校4年生の児童（県内約2万人）に啓発品（クリアファイル予定）を配布する。

オ ホームページやフェイスブックによる広報

レジ袋削減のため無料配布中止やポイント付与等を実施している参加事業者の取組内容を、県のホームページやフェイスブックで紹介する。

カ レジ袋無料配布中止（有料化）の取組

レジ袋削減に積極的に取り組む事業者を広報等で支援するとともに、全県的な実施に向けて、引き続き事業者への働きかけを行っていく。

3 その他普及啓発事業

岡山エコ事業所（一般事業所・小売店・ゼロエミッション事業所）認定制度や認定事業所の取組及び岡山県エコ製品認定制度を広く周知することにより、グリーン調達等の促進を図る。

食品ロスについて、事業者、県民（住民）の実践を促すため、食品ロスの実態や賞味期限と消費期限の正しい理解、フードバンク活動等の各種情報提供を積極的に行うと共に、市町村、消費者団体等を通じて普及啓発を図る。（資料8参照）

また、マイボトル・マイカップキャンペーン等3R推進につながる各種取組の情報提供を行う。（資料9参照）

